

地域運営組織で進める小規模多機能自治

小規模多機能自治とは、おおむね小学校区ほどの活動範囲で、住民や各種団体が力を合わせて、福祉、防災、子育てなどの地域の困りごとを自分たちで決めて解決する住民自治の仕組みです。

市では、地域の皆さんと力を合わせて持続可能なまちづくりを進めるため、小規模多機能自治の推進に取り組んでいます。

なぜ今、小規模多機能自治が必要なのでしょう。

人口減少などにより・・・① 地域が直面している課題

地域でもさまざまな問題が起きています。

例

【担い手の不足】

人口減少・少子高齢化により、地域活動を支える若い世代が減り続けています。

【空き家・耕作放棄地の増加】

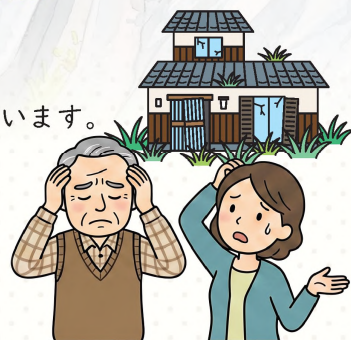
管理する人がいなくなり、空き家や耕作放棄地が増えています。

【草刈りなどの維持管理が困難に】

地域の環境を守るための作業を担う人手が不足しています。

【高齢者の見守りが難しくなる】

一人暮らしの高齢者が増える一方で、地域での見守り体制の維持が困難になっています。



人口減少などにより・・・② 市が直面している課題

近年、市では次のような課題が深刻化しています。

公共施設の見直し



公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の統廃合・削減を進める必要があります。

職員の確保が難しくなる



人口減少の影響により、将来的に市職員の確保が困難になる可能性があります。

行政サービスの継続が困難に



これまでと同じ水準の行政サービスを維持し続けることが、難しくなる恐れがあります。

③ 小規模多機能自治の必要性

いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために、地域内のさまざまな団体（まちづくり協議会・公民館・社会福祉協議会など）が連携・一体化した「地域運営組織」として行政と協力しながら課題に対応していく仕組みである「小規模多機能自治」が必要となっています。

「人口減少社会を、連携しながら乗り越える」

行政だけでも、地域だけでも解決できない課題を、ともに支え合うことで持続可能なまちを目指します。



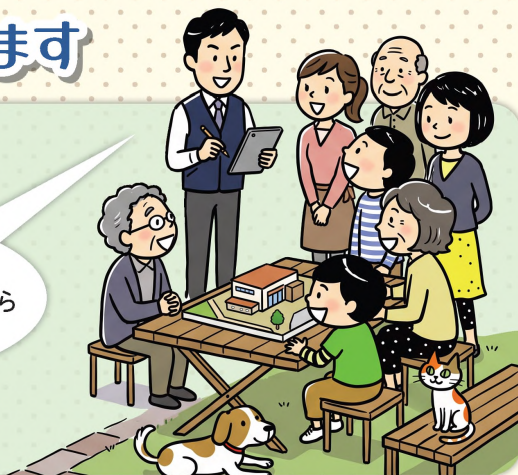
みんなで力を合わせて、住み続けられる地域をつくりましょう。

笠岡市では、地域と一緒に進めています

STEP 1 地域の現状を知る (令和4年度～)

- ・ 地域の現状把握
- ・ 住民アンケート
- ・ 話し合い
- ・ 将来像の共有
- ・ まちづくり計画の作成

地域の声を集めて、
地域のことを知ることから
始めています。

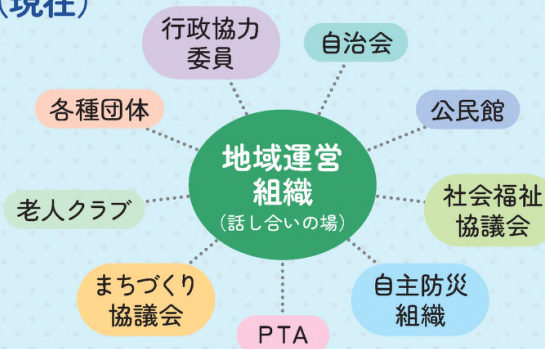


STEP 2 地域に合った体制と取組を考える (現在)

まちづくり協議会や公民館、社会福祉協議会、自主防災組織、PTA、各種団体などが、それぞれの役割を生かしながら、地域に合った体制づくりを進めています。

【取り組み例】

- ・ 広報紙、情報発信の一本化
- ・ 行事・事業の合同開催



STEP 3 地域の課題解決へ

地域で必要な取組を進めていきます。



見守り



移動支援



子育て



環境美化



健康づくり



防災



交流・イベント
など

■ 行政では ■

地域づくりを支えるため、行政内でも体制づくりを進めています。

- ・ 小規模多機能自治推進基本方針を基に、地域を支える仕組みづくりの検討
- ・ 各課横断での連携体制の検討
- ・ 庁内会議による情報共有
- ・ 職員研修の実施

■ 市長とのまちづくり座談会を各地区で行っています。 ■

地域が抱える課題や、将来のまちづくりについて、率直な意見を聞かせていただきます。

会合などがあれば市長が伺いますので、まちづくり課までご連絡ください。



市は、地域の皆さんと一緒に「住み続けられるまち笠岡」をつくっていきます。
小規模多機能自治の取組について、ご意見・ご質問は担当窓口へお気軽にお寄せください。

問合せ まちづくり課 ☎ 69-2123 ID76013